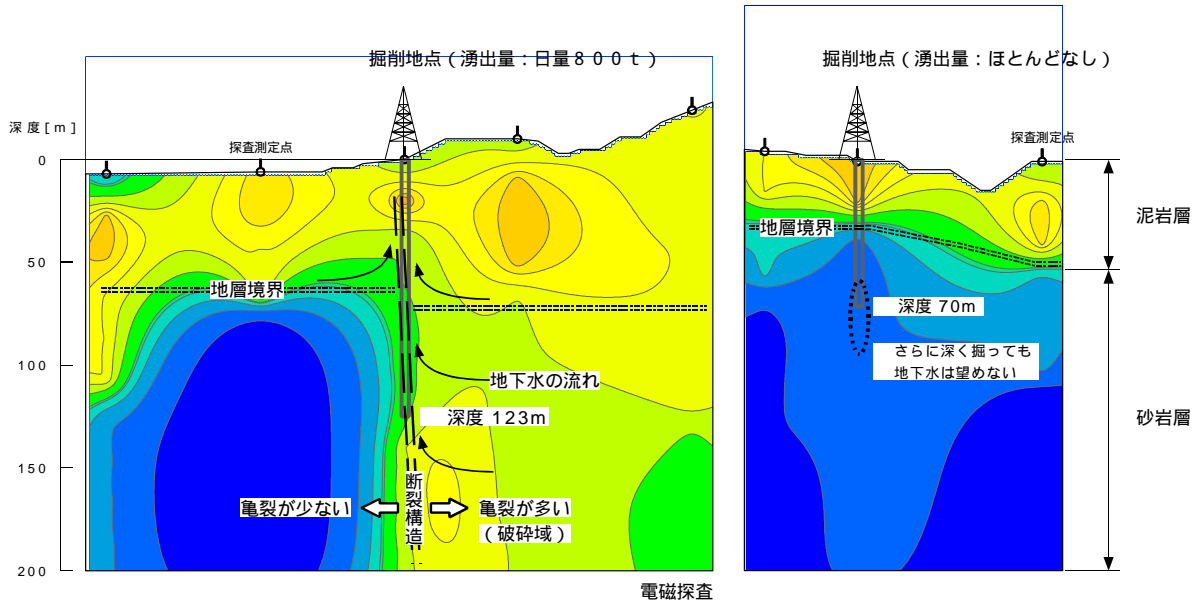
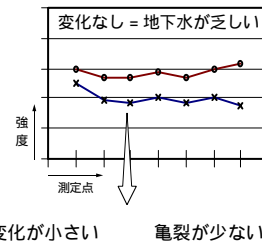
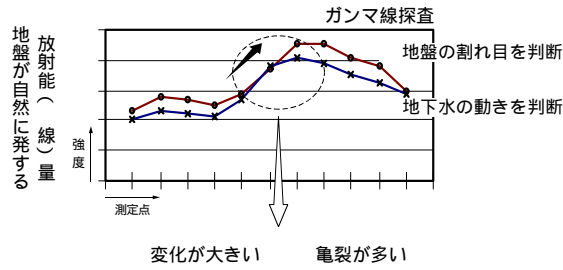
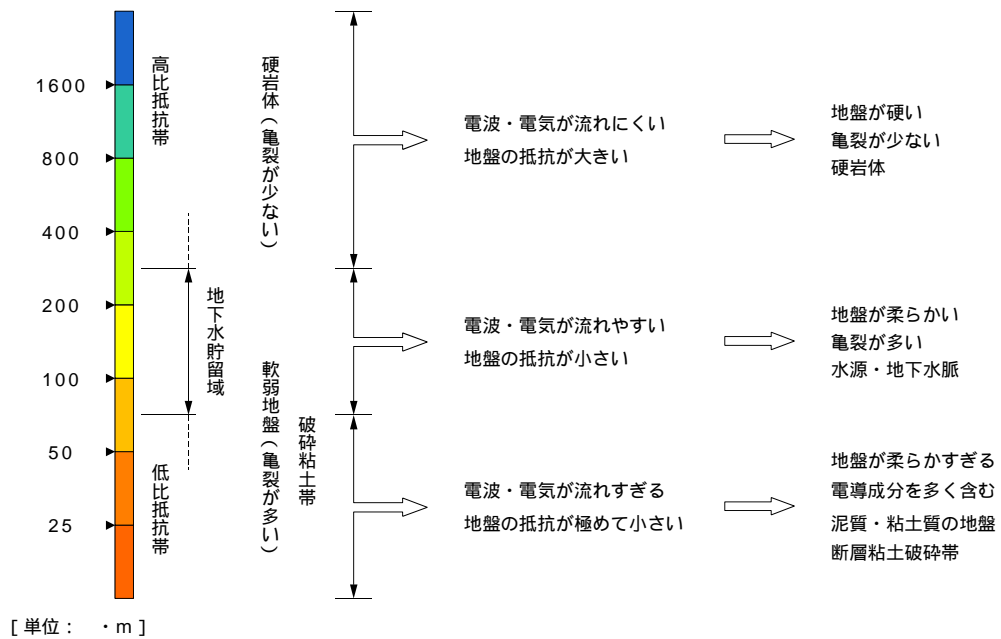


# 電磁探査 (CSAMT法), 放射能探査 (線スペクトル法)

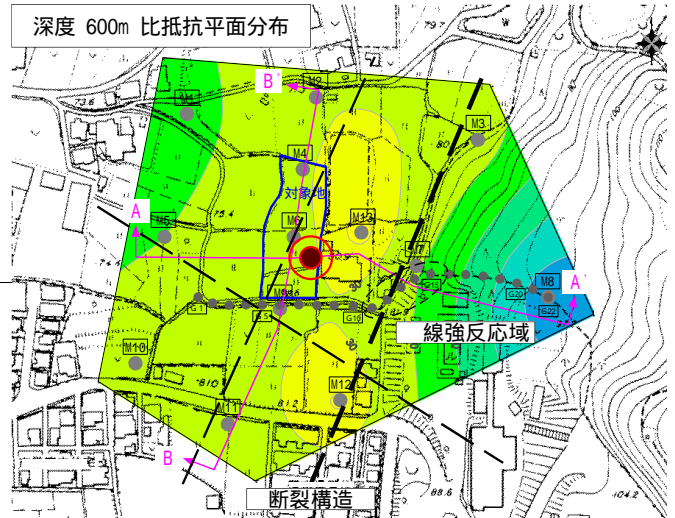
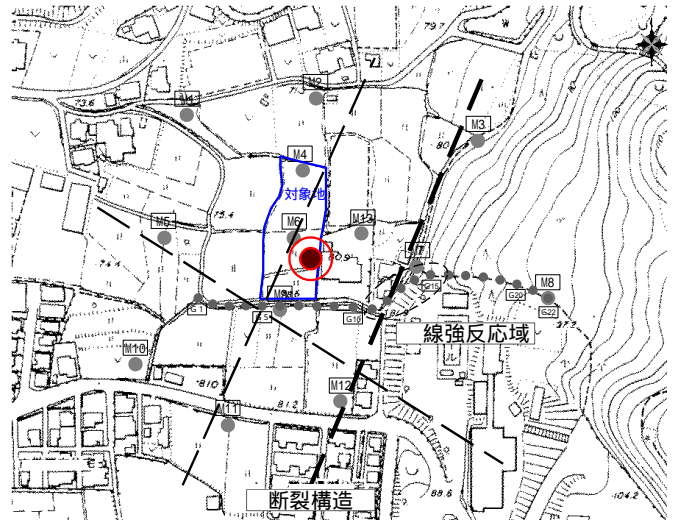
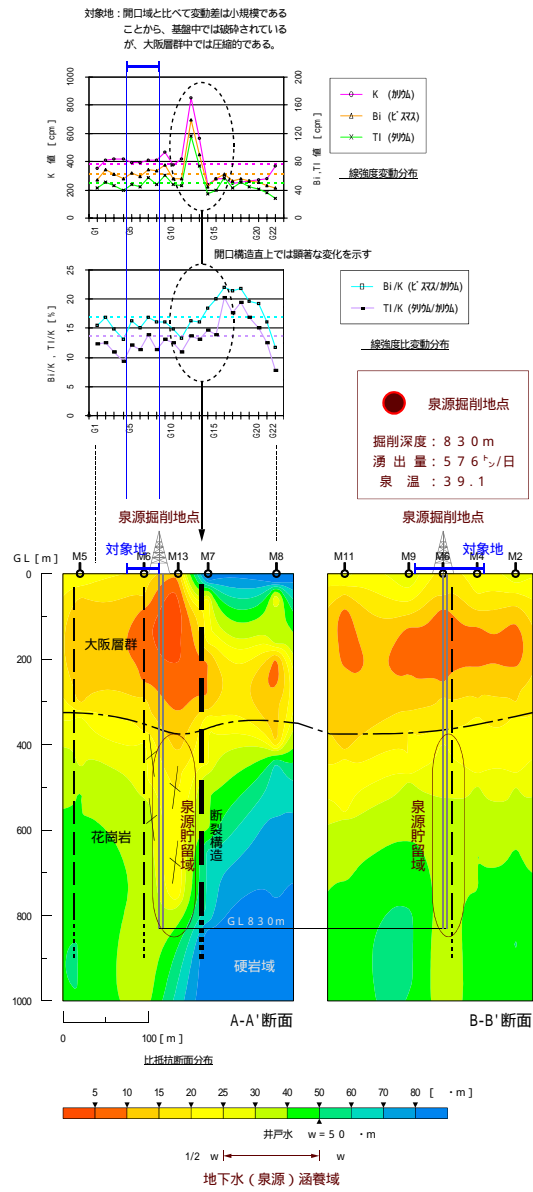


比抵抗値が示す地盤・地下水特性



## 水源調査事例

# 電磁探査 (CSAMT法), 放射能探査 (線スペクトル法)



## ○ 泉源掘削有望地点

探査測点M6付近が最も妥当で、敷地内の中では、より東側に位置する領域が掘削地点として望ましいです。  
また、掘削深度としては水量、水温等を考慮して、深度500m以上であれば必要水量は充分確保しうると判断されます。

## 泉源調査事例